

令和8（2026）年度

第1回 道競技委員会・地区協会競技委員長会議 資料



日時 令和8年4月4日（土）
場所 かでる2・7 1070室

一般社団法人 北海道バレーボール協会 競技委員会

令和8（2026）年度 一般社団法人 北海道バレーボール協会 運営の基本方針

一般社団法人北海道バレーボール協会は、令和7年5月9日に開催した第1回社員総会にて事業を開始し、バレーボール競技を通して道民の心身の健全な発達とスポーツ文化の醸成を目的に、新たな組織体制のもと、北海道内のバレーボール競技の振興と発展に取り組んでまいります。協会創立100周年を見据え、持続可能な協会運営を実現するため、役員発掘を含めた組織基盤の強化と日本バレーボール協会（JVA）との連携を深化させることで財務状況の安定化を目指します。また、34の加盟団体との協力体制を一層堅固なものとし、全道規模での新たな事業展開を推進してまいります。そのためには、協会役員による闊達な意見交換と、社員や関係者への十分な情報提供による、理解と同意、および継続的な支援が本協会の運営には不可欠であります。

令和7年度天皇杯・皇后杯においてヴォレアス北海道が準優勝を果たし、バレーボールを通じて道民に大きな感動を与えたことは、北海道のバレーボール界の大きな成果であり、今後の普及・強化の原動力となることを期待しています。事業についてはSVリーグや今年度から開幕するJVA主催のVリーグのホームゲームをはじめ、北海道内での各種主催大会を円滑かつ安定的に運営し、競技の魅力と価値の向上に努めます。

さらに法人化による社会的信用の向上を確かなものとするため、ガバナンスの強化及びハラスメント防止は最重要課題であり、協会役員をはじめ、バレーボールに関わるすべての方々が高い意識を持ち、健全かつ持続可能なスポーツ団体となることを目指してまいります。さらに、協会運営には人材育成が基盤となり、今後も多岐にわたる課題の解決に向け、以下に今年度の重点目標を掲げ、バレーボール競技の普及・発展に向けた取組を着実に進めてまいります。

重点目標

1. 協会創立100周年に向け、健全で安定的な協会運営を目指し、JVAとの連携強化やスポンサー獲得、新規事業の開拓により、安定した財務基盤の構築を目指します。また、公認会計士・税理士への委託により、適正な会計及び税務処理を遂行します。
2. 34の加盟団体との情報共有と協働体制を充実させ、全道一体となった事業推進を目指します。SVリーグ、Vリーグ、各種主催大会の円滑かつ安定的な運営を通じて、観るスポーツ・参加するスポーツとしての価値向上と地域活性化に貢献します。
3. 組織運営の透明性向上、リスク管理体制の整備を進めると共に、体罰・暴力・暴言をはじめ、あらゆるハラスメントの根絶に努め、社会的信頼の向上を図ります。
4. 中・高・大の一貫指導のさらなる充実やシニアとの連携による強化を推進し、各種全国大会での上位進出と国民スポーツ大会での競技得点獲得を目指します。
5. 小学生から一般・シニア層まで、ライフステージに応じた環境整備を進め、競技人口の拡大を図ります。部活動の地域展開の課題に取り組むと共に、普及委員会、指導者育成委員会が連携して、ジュニア層でのバレーボール競技の普及と指導者の育成に努めます。
6. 全道規模での新たな事業展開により指導者・審判員・運営役員の発掘・育成を進め、持続可能な競技運営体制の構築を目指します。

道 競 技 委 員 会 報 告

1 令和7（2025）年度 事業報告（●中止）

事業名等	特記事項
1 委員会開催	4月 5日(土) 第1回道競技委員会 全道競技委員長及び開催地事務局長会議 9月 6日(土)・7日(日) 天皇杯・皇后杯北海道ブロックラウンド男女運営 10月18日(土) 高校選手権大会抽選会 1月17日(土) 高校新人戦全道大会抽選会 ※大会開催に向け道競技委員会を適宜開催
2 大会運営報告	○全日本バレーボール実業団選手権大会9人制 ○クラブカップ全日本選手権大会9人制 ○クラブカップ全日本選手権大会(旧6人制大会) ○日本スポーツマスターズバレーボール競技 ○全国バレーボール社会人優勝大会東ブロック ○全日本バレーボール選手権大会9人制(旧総合9) ○天皇杯・皇后杯北海道ラウンド ○天皇杯・皇后杯北海道ブロックラウンド ○全日本バレーボール高等学校選手権大会 ○北海道高等学校バレーボール新人大会 ※全国バレーボール社会人優勝大会東ブロック(帯広・音更)
3 今後の取り組み	①令和8年度各種大会実施計画の作成及び実施 ②高校新人大会の大会運営方法について(会場数・経費等) ③協会の登録数格差と出場チーム数等の検討 ④大会運営についての研修(競技委員研修会) ⑤イベント制を高める大会運営の検討 ⑥各委員会との連携と大会の見直し ⑦道競技執行部の体制の検討

2 令和8（2026）年度 事業計画

1 各種会議の開催

- (1) 第1回競技委員会 令和8年4月4日(土)
 (2) 全道競技委員長研修会及び開催地事務局長研修会 令和8年4月4日(土)
 (3) 天皇杯・皇后杯北海道ブロックラウンド運営及び研修会 令和8年9月5日(土)～6日(日)
 (4) ヴィンテージ8'sJVA第17回 全国バレーボール交流大会8人制(函館)
 抽選会 令和8年8月1日(土)
 (5) 高校選手権大会抽選会 令和8年10月9日(土)
 (6) 高校新人大会抽選会及び代表者会議 令和9年1月23日(土)

2 全国大会開催種目・日程・開催市関係

- (1) ヴィンテージ8'sJVA第17回 全国バレーボール交流大会8人制(函館)
 開催日程 令和8年9月25日(金)～27日(日) 代表者会議 9月25日(金)
 締め切り日 7月24日(金) 抽選会 8月1日(土)

(2) Vリーグ関係

SV.LEAGUE ALL STAR GAMES 2026-27
 開催場所：エスコンフィールド HOKKAIDO
 開催期間：2027年1月30日(土)
 ※WOMEN・MEN 同日開催

3 具体的取り組み

本年度検討項目

- (1) 高校3大会の全般について（日程・出場枠など）
- (2) 競技委員研修の拡大（選手権大会・新人大会）
- (3) MRSを利用しての大会申し込みの推進

継続的な取り組み

- (4) 各委員会との連携と大会の見直し
- (5) 道競技執行部の体制の検討
- (6) 各種大会運営のマニュアル化
- (7) ホームページでの情報発信と即時性の推進
- (8) 各種大会の速報の継続
- (9) 各地区協会競技委員長・加盟団体競技委員長と連絡を密にし、競技委員の養成と若手の人材発掘・育成に努める

各種大会実施大綱

1 競技規則と競技方法

- (1) 公益財団法人日本バレーボール協会競技規則により、トーナメント形式・3セットマッチまたは5セットマッチとするがチーム数によっては、リーグ戦、グループ戦の後トーナメント戦で行う。(各種大会要項に定める競技方法を確認のこと)
- (2) 各種大会のコート・ネット・ボール及び内気圧規格は、ルールブック参照。
- (3) 小学生大会については、別に定める公益財団法人日本バレーボール協会競技規則によって実施する。
- (4) 各種大会使用球は、(公財)日本バレーボール協会公認メーカーのボールを使用する。

2 参加資格

- (1) JVAメンバーに登録することで、すべてのJVA主催全国大会および予選会、または都道府県協会の主催・主管する大会に参加する権利を得る。
- (2) 各大会に参加できる選手は、その申込みまでに有効に登録された選手でなければならない。また、全国大会についても、大会申込みまでにそのチームに加入していれば、予選会に参加していなくても全国大会に出場することができる。その際、そのメンバー(選手、スタッフ)は、他のチームから同一大会の予選会に参加申込みしていないことが条件となる。
道内大会では大会申し込み締め切り日の1週間前迄にJVAメンバーに登録されたチーム及び個人。
クラブチームは、北海道クラブ連盟(道・各地区連盟)に登録しなければならない。なお、個人は3チームまで登録できる。
- (3) 同一の大会(全国大会の予選会を含む)への参加は、1登録チームにつき1チームとする。ただし開催要項により1登録チームについて複数のチーム参加を許可している場合は除く。
 - ①〇〇クラブとして登録しているチームが〇〇クラブ(A)と〇〇クラブ(B)等2つまたはそれ以上に分割して出場することを指す。
 - ②このケースを許可している大会でも、そのチームに所属している選手及びスタッフは、いずれかの1チームからのみ参加することができる。(部長は除く)
- (4) 選手及びスタッフは、同一大会(全国大会の予選を含む)に出場できるのは1チームからとする。
 - ①2つ以上のチームに所属する選手・スタッフが1つの大会(予選会を含む)に出場した場合、この選手・スタッフは他のチームから同一の大会(予選会・本大会を含む)に出場することはできない。
- (5) 大会申込みにおいて申込手続きが完了した時点で、その大会に出場したものとみなす。
- (6) JVA主催全国大会に参加するチームのベンチスタッフについては以下のとおり。
 - ①監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ1、コーチ2、コーチ3、コーチ4のいずれかの資格を有する者でなければならない(2019/4より指導者制度が変更となりました)。
 - ②JVA主催全国大会に参加するチームのベンチスタッフも、JVAメンバー登録することが必要となる。スタッフは「選手」または「チームスタッフ」としてMRSにより登録をする。「選手」として登録しているメンバーはベンチスタッフと選手を兼ねることができるが、「チームスタッフ」として登録した場合、選手として申し込むことはできない。
 - ③北海道協会主催大会において、参加チームの監督、コーチ、マネージャーのうち1名以上は北海道協会公認コーチの資格以上を有する者であること。(各連盟主催、実行委員会組織大会においては別途定める。ただし、全国大会出場を決めたチームは上記①を遵守しなければならない。)
- (7) 全道大会に出場できる各地区代表チーム数
 - ①高等学校選手権大会は、当年度の8月31日現在の登録チーム数を基準として決定する。8月31日以降の追加登録による出場チーム数の増加は認められない。
高等専門学校(高専)の取扱いについて、チーム登録が高等専門学校体育連盟に、上記日時までに有効に登録されている場合は、高校登録としても取り扱う。
登録チーム数が4チーム以下は1、5~12チームは2、13~20チームは3、21~28チームは4、29~36チームは5、37~44チームは6、45~52チームは7、53チーム以上は8とする。
 - ②高等学校新人大会は、当年度の11月30日現在の登録チーム数を基準として決定する。11月30日以降の追加登録による出場チーム数の増加は認められない。
高等専門学校(高専)の取扱いについて、チーム登録が高等専門学校体育連盟に、上記日時までに有効に登録されている場合は、高校登録としても取り扱う。
登録チーム数7チーム以下は1、8~14チームは2、15~21チームは3、22~28チームは

- 4、29～35チームは5、36～42チームは6、43～49は7、50チーム以上は8とする。
- ③大学・高校・中学校・小学校・ママさんの各連盟主催大会については、各連盟規定によるものとする。
- ④北海道協会から推薦されたチームは前各項にかかわらず出場することができる。
- ⑤開催主管協会からは各種目ごとに、さらに1チームを代表とすることができる。北海道協会主管全国大会の場合のプラス1チームは開催地協会代表である。開催地協会に該当チームの無い場合は、北海道予選会の次点チームを代表とする。
- ⑥同一地区から2チーム以上出場の際には必ず順位をつけて連絡する(大会申込用紙記入)
- ⑦高校男女の種目は4月2日を基準として、満19歳未満の高校生により構成されたチームで、日本協会登録と北海道協会の規定した参加資格及び、北海道高等学校体育連盟の定める参加資格を有するチームであること。但し高校新人大会は開催年度の4月2日で18歳未満の高校生であること。(全日制については第1学年、第2学年の生徒とする)また1条項以外の学校(専修学校・各種学校)・高等専門学校の参加を認める。
- ⑧定時制高校生は、登録しているかぎり個人として勤務先からも出場できる。
- ⑨クラブカップ(6・9人)、実業団9人、総合9人、全国社会人、マスターズ9人、**総合リーグ6人**の各大会はフリー参加とする。**(国スポ成年6人削除)**
- (8) 全国大会の北海道予選会
- ①クラブカップ(6人制・9人制)
日本協会「チーム加盟及び個人登録規程」により「クラブ」として有効に登録された選手及びベンチスタッフで構成されたチームであること。
〈注意事項〉
・選手及びスタッフは、6人制・9人制両方に出場できる。(6人制・9人制は別大会とする)
〈以下に該当する選手は出場できない〉
・当年度、クラブ以外の加盟団体から全国大会に出場している選手、**SVL・JVL**に加盟(準加盟含む)しているチームに、**SVL・JVL**の事業年度である前年7月1日から本年6月30日までの期間に登録された選手。
・前年度全日本バレーボール大学男女選手権大会(通称:**全日本インカレ**)に出場(選手登録)した選手、ただし前年度大学を卒業した選手、当年度入学した選手は除く。
- ②実業団選手権
日本協会「チーム加盟及び個人登録規程」により「実業団」として有効に登録された選手及びベンチスタッフで構成されたチームであること。
- ③全国社会人9人制
日本協会「チーム加盟及び個人登録規程」により「実業団男子・女子」、「クラブ男子・女子」、「大学男子・女子」として有効に登録された選手及びベンチスタッフで構成されたチームであること。
・下記の競技会に出場したチーム及び個人は出場できない。
ア. **当年度全日本実業団選手権大会9人制男女(黒鷲旗削除)**
イ. **当年度全日本クラブカップ選手権大会9人制男女**
ウ. 当年度国民スポーツ大会バレーボール競技
エ. **SVリーグ・ジャパンバレーボールリーグに加盟(準加盟含む)しているチームに、SVリーグ・ジャパンバレーボールリーグの事業年度である前年7月1日から本年6月30日までの期間に登録された選手。**
オ. **前年度全日本バレーボール大学男女選手権大会(通称:全日本インカレ)に出場(選手登録)した選手、ただし前年度大学を卒業した選手、当年度入学した選手は除く。**
- ④社会人大会の目的
本来、社会人大会の目的は、上記アからオまでの「全国大会」の出場権を得られなかったチームが参加できるように考えられた大会である。
この趣旨から、上記アからオの予選(ブロック大会を含む)に出場していても、全国大会に出場していなければ、社会人大会に出場することは可能である。ただし、社会人大会の予選に2チームから参加したり、一つのチームが複数の予選に出場したりすることはできない。
【追記】社会人大会の参加資格(2017年度からの取り扱い)について(2017/3/4 追記)
黒鷲旗、9人制実業団、9人制クラブカップの各大会にチーム及び個人として出場した場合、社会人大会への出場(大会申し込みをした時点で出場とみなす)は認められないが、上記大会の参加申込にベンチスタッフとして登録して出場した場合のみ、社会人大会に別のチームから選手としてもスタッフとしても出場できる。
- ⑤北海道大会の確認事項
ア. クラブカップ大会の参加資格は、下記の大会規定による。

クラブカップは、当年度『クラブ男子』『クラブ女子』として北海道協会、北海道クラブ連盟・各地区クラブ連盟に登録されている選手でチーム構成されていなければ出場できない。

イ. 当年度クラブを除くそれぞれの加盟団体から全国大会北海道予選会に出場した選手は出場できない。(例えば、全日本9人制実業団選手権大会の北海道予選会に出場したチーム及び個人は全日本6・9人制クラブカップ選手権大会北海道予選会には出場できない。)

ウ. 全国大会の北海道予選会で代表権を得て北海道協会の推薦を受けたチームは必ず全国大会に出場するものとする。

(9) ママさんバレーボール連盟関係

①全道ママさん大会

ア. 各地区予選会申込み締切日までに北海道ママさんバレーボール連盟に登録されているチーム及び個人。

イ. 各地区代表数は当年度4月1日までに道連盟に登録されたチーム数により、**決定する**。

②ほくでんカップ北海道ママさんバレーボール大会

ア. 各地区予選会申込み締切日までに北海道ママさんバレーボール連盟に登録されているチーム及び個人。

イ. 各地区代表数は当年度4月1日までに道連盟に登録されたチーム数により、**決定する**。

3 チーム推薦対象大会

高校選手権大会、高校新人大会

天皇杯・皇后杯 **JVA** 全日本バレーボール選手権大会北海道ブロックラウンド

4 国民スポーツ大会

(1) 基本的な考え方

国民スポーツ大会におけるバレーボール競技（6人制種目・ビーチバレーボール種目）については、都道府県予選大会を行い、その代表によるブロック予選大会を行う。そのブロック予選大会を通過した都道府県が出場権を得るものとする。

(2) 少年種別について

①**2008**年4月2日から**2011**年4月1日までに生まれた者とする。

②参加は、居住地を示す現住所、学校所在地、勤務地のいずれかが属する都道府県とする。

③一家転住については、転居先の都道府県大会締切日以前に、その手続きが完了していること。

④参加形態については高校単独か選抜とする。

⑤外国人については、就学生（高校）で大会実施要項が定める参加申込締切時に1年以上在籍していることが条件である。エントリーに関しては全国高等学校体育連盟バレーボール専門部のルールに準ずる。（エントリー2名、オンコート1名）

⑥参加人数は、監督1名選手12名とする。

⑦**監督以外に他のスタッフを2名までベンチ入りすることができる。**

・他のスタッフとは、アシスタントコーチ、マネージャー、トレーナー等を指す。

・他のスタッフの資格については、MRS登録、指導者資格は不要とする。

・代表者会議前のコンポジション提出時に監督以外のスタッフ名簿を別途様式に記入し提出する。

(3) 成年種別について

①**2008**年4月1日以前に生まれた者とする。

②居住地については、**2026**年4月30日以前に届出がされ住所を有し、日常生活を送っていることとする。

③勤務地については、**2026**年4月30日以前に雇用者と契約を締結し、現に主たる勤務実態を有する会社等の所在地を指すこととする。

④ふるさと選手については、出身卒業小学校・中学・高校所在地の都道府県から参加できる。

⑤参加形態については、単独か選抜とする。

⑥結婚・離婚については、特別大会参加者は**2025**年5月1日以降、**2026**年4月30日までに法的手続きが完了していれば、他の都道府県から参加できる。

⑦新卒業者（大学・高校を卒業）については、他の都道府県から参加できる。但し、大学院修了者・大学中退は含まない。

⑧外国人については、過去に在留資格として、「就学生」の実績が必要である。外国人の参加資格については、確認のために都道府県スポーツ協会を通じて、日本スポーツ協会に問い合わせることが望ましい。また、大学生（留学生）は就学生の実績があっても参加できない。

- ⑨大学生の参加については、単一大学で参加できる。(2008年度より)学校所在地での参加は上記①、②、③に当てはまらないので、認められない。
- ⑩都道府県代表数は、ブロック代表9チームと開催県の1チームを加えた10チームとする。
- ⑪参加人数は、監督1名選手14名とする。
- ⑫監督以外に他のスタッフを2名までベンチ入りすることができる。
 - ・他のスタッフとは、アシスタントコーチ、マネージャー、トレーナー等を指す。
 - ・他のスタッフの資格については、MRS登録、指導者資格は不要とする。
 - ・代表者会議前のコンポジション提出時に監督以外のスタッフ名簿を別途様式に記入し提出する。

(4) ビーチバレー種目について

- ①2008年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者とする。
- ②都道府県代表チーム数は24チームとする。
- ③シードチームは2チームとする。

(5) 北海道ブロック大会について←全部カット

5 日本スポーツマスターズ・バレーボール競技

(1) 参加資格及び年齢基準 前(1)をカット(予選について記載)

- ①日本バレーボール協会登録規程により、有効に登録された者で構成されたチームであり、令和8(2026)年4月1日をもって、男子は満40歳以上、女子は満35歳以上の選手で構成されたチーム。
 - ②令和8(2026)年開催の第80回国民スポーツ大会バレーボール競技会(都道府県予選会及びブロック大会を除く)に選手として参加する者は、日本スポーツマスターズ2026バレーボール競技会に選手として参加することはできない。
 - ③北海道バレーボール協会長から推薦された男・女各代表チーム(選抜または各都道府県予選によって選ばれたチーム)1チーム及び開催地代表チーム男・女各1チーム。
 - ④監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は、日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ1・2・3・4の有資格者とする。(必須)受講中はOKの記載をカット
- (注)参加申込の際は、資格を証明する登録証又は認定証の写しを添付すること。
- ⑤チーム構成は、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手18名の合計21名以内とする。

6 推薦チームの参加手続き

北海道協会が推薦したチームは地区予選会を経ずに全道大会に出場できるが、この場合、必ず地区協会を経由して参加申込をしなければならない。

7 申込期限・組合せ作成・抽選方法

- (1) 申込期限は大会開催3週間前の水曜日(大会・日曜日起算25日前)とし、3日後の土曜日抽選を原則とする。
- (2) 各種大会の組合せ抽選方法については、別紙基準により行う。(公開抽選を行っているので参加チームの出席を希望する)

8 申込手続き

- (1) 北海道協会主催大会（加盟団体主催大会を除く）においては、各大会の大会要項に記載された方法により申し込みを行う。（実連・クラブ連・天皇杯皇后杯等の大会ではMRSにより申込を行なう大会がある）
- 〈MRSによる大会申し込みの場合〉
JVAのMRSチーム責任者のマイページからログイン
- ↓
- 大会申込/履歴から当該大会を選択
- ↓
- 必要事項を入力し大会申込を行なうこと
- ↓
- 申込完了後、チーム責任者へ大会参加料の請求メールが送信される。
- ↓
- 請求メールに従いコンビニまたは郵便局ATMで納入のこと。
- (2) 全国大会（JVA主催・加盟団体共催の補助対象大会）で、大会プログラムへのチーム写真掲載及び活字化を実施します。
全国大会への申込みは、MRSシステムチーム責任者マイページより大会参加申込を行うこと。
- (3) 参加申込の際、大会参加申込書に記載された代表者の個人情報は、大会運営業務のみに利用します。ただし、ベンチスタッフ及び各選手の個人情報（氏名、競技者番号、年齢、身長、出身校）は大会プログラムに掲載しますのでご了承ください。
参加チームには、上記了解の上『プログラム掲載用選手名簿』を開催主管協会に提出依頼のこと。
大会に参加する各チームの情報については開催地において厳重に管理し、決して第三者に漏洩及び目的外使用のすることのないように注意すること。
- (4) 監督・コーチ・マネージャーは当該チームの一員としてエントリーしなければならない。
実業団・大学については部長もエントリーすることができる。
- (5) 競技会申込時には18名までエントリーできる。その後のエントリーの変更は競技会を通じて認められない。（小連、中体連、高校総体を除く）
- (6) チームは代表者会議の際にチームスタッフの変更届を変更の有無にかかわらず提出する。

9 その他

- (1) 各種大会開催時、主管協会の負担軽減を考慮し、状況に応じて、参加チームにラインジャッジ、点示・公式記録の協力を依頼するので、各チームに主旨理解のうえ協力を要請する。
- (2) 高校選手権大会(春の高校バレー)のプログラム、大会会場『一文字幕・看板』には『バボチャンマーク』を入れ、その写真を大会報告の際に北海道協会に提出する。

大会事務処理要領

開催地 総務・競技委員会の対応

1 事前準備

- (1) 令和8(2026)年度の大会開催要項は、道競技委員会副委員長(西原)が作成・発送しますが、開催地においては会場名(住所・電話番号)、事務局(申込み先)等を西原副委員長へ事前にお知らせ下さい。
- (2) 賞状用紙およびボールメーカーの広告原稿は道協会事務局から送付等します。(クラブ大会は道協会の賞状のほか、道クラブ連盟から賞状とレプリカが届きます)詳細は大会競技委員長とご相談願います。
- (3) 試合球は、道協会事務局から開催地へ送付等されます。詳細は大会競技委員長とご相談願います。
- (4) MRSでの大会申込書を行っていない場合(高校選手権・高校新人大会等)、大会申込書の競技者名を、各チームから送付されたMRSのチーム登録者名簿とチェック願います。(文字に相違がある場合は、MRS名簿に合わせて訂正した物をプロに掲載します。文字の相違等のあるものは、必ず当該チームに連絡し、確認して下さい。(国スポの場合はチームスタッフは監督のみです)
- (5) 試合に使用する各種用紙類は、北海道協会HP(競技委員会)からダウンロードしてお使い下さい。(使用する前に道競技委員に確認してください。(各カテゴリーで変えている場合があります))
- (6) 大会用「道協会旗」は、各地区協会事務局で保管しています。
- (7) 前年度優勝チームと事前に連絡を取り、優勝杯(旗)の返還について必ず確認し、開会式において返還できるよう手配して下さい。
- (8) 全国大会の出場権を得たチームには、開催要項・参加申込手続き等について説明して下さい。(原則北海道協会より説明いたします)

2 組合せ抽選会

- (1) 抽選会は通常大会日3週間前の土曜日です。(申込締め切りはその週の水曜日)
- (2) 抽選会は、大会委員長・競技委員長・審判委員長・総務委員長で行いますが、必要に応じて、開催地スタッフの参加もお願いします。
- (3) 抽選会メンバーへの連絡は、競技委員長が行います。旅費などの必要経費は、開催地協会負担です。
- (4) 抽選会は、基本的に道協会事務局で行うことになっていますが、開催地などで実施してもかまいません。
- (5) 組合せ表は、大会競技委員長が作成したものを使用しますが、事前に道協会・石崎競技委員長の了解を得てください。
- (6) シードチームは、道協会競技委員会から大会競技委員長へ連絡致します。
- (7) 抽選結果は、下記へ遅滞なくmailでお知らせ願います。
 - ①道協会事務局 E-mail : h.v.a@estate.ocn.ne.jp
 - ②石崎道競技委員長 E-mail : ishichan_0115@yahoo.co.jp
 - ③佐藤道競技委員会副主事 E-mail : makoto-sato@hokkaido-c.ed.jp
 - ④参加各チーム (mail送信または道協会HPにアップ)
 - ⑤大会役員 (mail送信または道協会HPにアップ)
- (8) 参加チームへの抽選結果の送付とともに『競技審判上の確認』や『会場使用にかかわる注意事項』等、競技会にかかわる参加チームへの連絡事項をあわせて送付して下さい。

3 大会当日

- (1) 代表者会議終了後、チームスタッフ変更届を受領チェックし、各会場へ配布願います。(チームスタッフ変更届は報告書の一部として道協会に送付。P14 結果報告参照)
- (2) 閉会式での成績発表は、競技委員長または競技副委員長がおこないます。
- (3) 全国大会出場手続きについては、閉会式後、総務委員長から当該チームへ説明願います。

4 その他

- (1) 基本的には、全道競技委員長会議資料をもとに各業務を行って下さい。
- (2) 不明な点を含め、道競技委員と十分打合せを行って下さい。(基本は大会競技委員長)

各種大会の組合せ抽選方法について

【競技会シードの基本的な考え方】

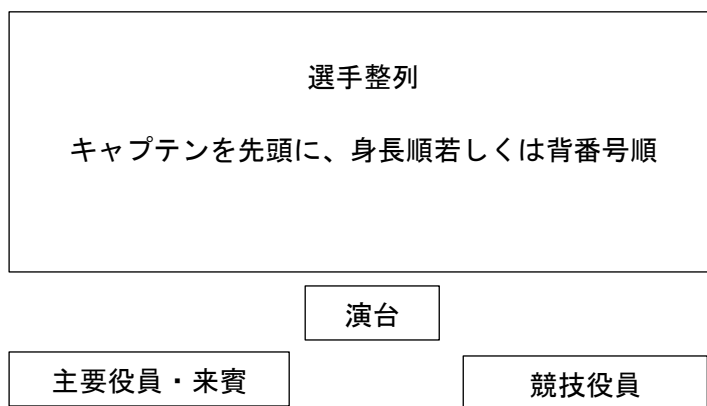
- 1 公益財団法人日本バレーボール協会、競技要項に準拠して行う。
- 2 シードチーム数は2～4チームを原則とする。
- 3 前年度の本大会・当該年度の各種大会の上位4チームをシードの対象とする。
1位……5点 2位……3点 3位……1点
同点の場合は抽選による。
- 4 同一地区・支部2チーム以上。 (ゾーンシード)
- 5 同一資本、同一経営者2チーム以上。(ゾーンシード)
- 6 抽選順序は、男子の次に女子。順位のあるシードチーム。ゾーンシードは、同一地区の多い順で、かつ北または南の順。トス等、同一地区(支部)の順序は受付順とする。
- 7 トーナメント戦の場合は、(上記4・5)
2チームの場合 ----- 2分の1ゾーン
3～4チームの場合 ----- 4分の1ゾーン
※3チームの場合、まず2分の1ゾーンで1・2位、次に1位の対ゾーンで2位の入っていない4分の1ゾーンに3位チームを入れる。
5～8チームの場合 ----- 8分の1ゾーン
※まず4分の1ゾーンで4位まで、次に8分の1ゾーンで空いているゾーンにシード基準に従い5～8位チームを入れる。
- 8 抽選は、抽選順序の抽選、組(またはゾーン)の抽選、位置ナンバーの抽選の順序に3回行う。
- 9 高校大会で、同一地区(支部)に、シードチームがある場合(札幌・旭川等)については、シードチームを含めた順位の中で正確に抽選する。

【同一地区(支部)複数チームのシードについて】

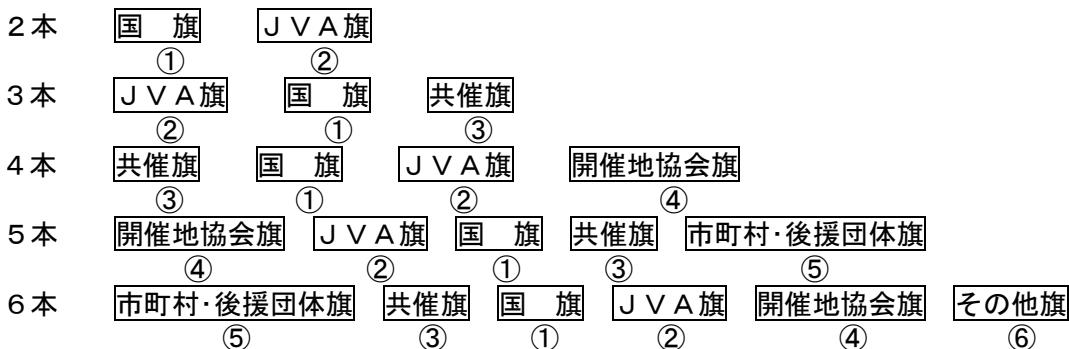
- 1 同一地区(支部)に第1シードのチームがある場合の抽選方法。
① 1位チーム(地区2位) A B 1/2ゾーンの、Bゾーンでフリー抽選。
② 2位チーム(地区3位) A B C D 1/4ゾーンで、1位チームの入っていないC・Dゾーンのいずれかで、フリー抽選。
③ 3位チーム(地区4位) Bゾーンでフリー抽選。
④ 4位チーム(地区5位) A B C D 1/4ゾーンで、4位チームの入っていないBゾーン(1/8)でフリー抽選。
- 2 同一地区(支部)に第1・第2シードのチームがある場合の抽選方法。
① 1位チーム(地区3位) A B C D 1/4ゾーンの、Cゾーンでフリー抽選。
② 2位チーム(地区4位) A B C D 1/4ゾーンの、Bゾーンでフリー抽選。
③ 3位チーム(地区5位) A B C D 1/4ゾーンで、2位チームの入っているBゾーンの入らない1/8ゾーンでフリー抽選。
④ 4位チーム(地区6位) A B C D 1/4ゾーンで、Cゾーンで1位チームの入っていない1/8ゾーンで、フリー抽選。
- 3 同一地区(支部)に、シードチームが1チームある場合で、地区代表チーム数3チーム以下の抽選方法
1) 2チームの場合
シードチームの入っていない1/2 A・Bゾーンで、1/4 A・B又はC・Dゾーンでフリー抽選(代表チーム数1)またはゾーン指定抽選(代表チーム数2・地区順位考慮)。
2) 3チームの場合
1/4ゾーン A B C Dのシードチームの入っていないゾーンでゾーン指定抽選。
- 4 その他の場合も、この方法に準じて抽選する。

競技運営研修会資料

- 1 組み合わせ抽選について
エントリー締切日（水曜日）週の・土曜日を原則とする。（北海道協会事務局）
※抽選結果を各チームに連絡。
- 2 プログラム作成について
プログラム作成基準（各種大会・国スポ・高校選手権）に準拠して作成する。
- 3 大会当日の業務
各種大会北海道予選会開催時、審判研修会と同じく、競技研修会を実施する。
主管協会の競技委員長が主催し、大会競技委員長が講師となり、大会のスムーズな運営を図る。
必要資料は主管協会の競技委員長が作成する。
- 4 本部席設営について『三角プレート』は前後から見て、よくわかるように。



- 5 開式通告・閉式通告について
日本協会主催（北海道協会主催）大会に関しては、要項通りの表現で印刷実施する。
（例・開式の言葉等 不可）
（1）開式通告とする。
（2）このとき係がステージの上で通告する場合は端で行う。アナウンスでも可。
（3）大会委員長が大会名を述べるので、通告者はただ単に「ただ今から開会式を行います」と述べる。
- 6 来賓挨拶について
事前に十分打合せておく。（2分程度）
- 7 大会旗の掲揚について（ステージに向かって）
冠大会＝社旗、加盟団体旗については、主催・共催・後援等の関係による順位。
国旗等の配列（向かって左から）・・・（注）○内の数字は、配列の優先順位を示す。



※中央を基準とし、左側上位を原則とした考え方による。

◎ 特例として

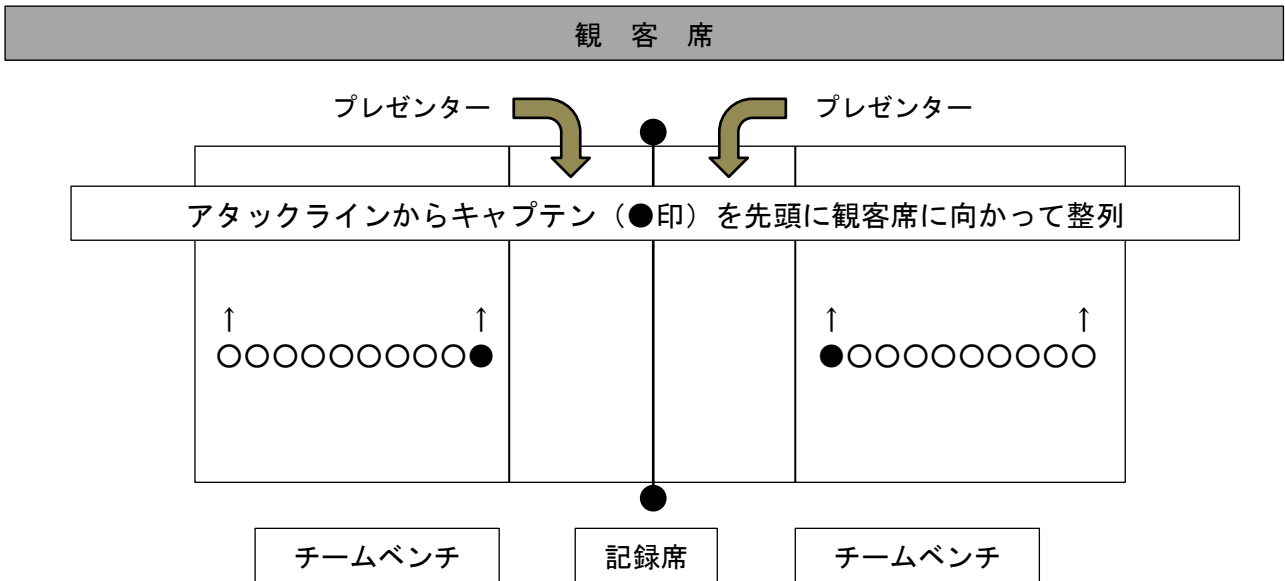
開会式・閉会式するとき、「旗」の上昇下降の際は「曲」の最後に合わせて、タイミ

ング良く行おうとすると、遅くて、様にならない場合が多いから、いくぶん早く上昇下降するように行う。(上昇固定のままでも可)

8 コート表彰（決勝戦・3位決定戦終了後）について

試合終了後、プラカードを持ってエンドラインに整列し、ネット付近で両チームが握手を交わす。その後ベンチに戻り、レフリーの合図・誘導により下図のように整列する。

観客席に向かって整列。隣でゲーム中でも放送を使用して行う。プレゼンターは記録席側からでも可。



9 開会式・閉会式・表彰は、その大会のハイライトとして、参加した選手、応援観衆、役員全ての全てが楽しく思い出深く、意義あるものとなるよう心がける。

10 応援旗とギャラリーの関係

ギャラリーの下から、さらに垂れ下がるような場合は、下がらぬよう指導する。応援団代表と事前に打合せし、観客席からの観戦の妨げにならないよう指導する。

11 報道関係者・冠大会関係者の扱いについて

案内状・プログラムの発送等丁寧に対応し、相当の記事の掲載や支援協力を願う。

12 競技記録の記入方法の確認

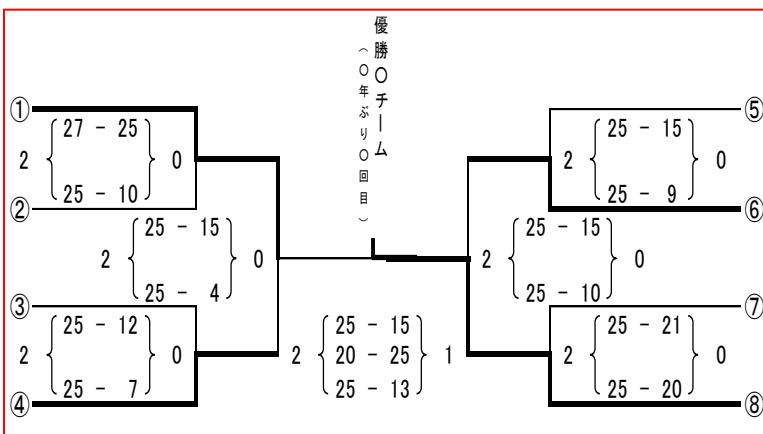
下図のように横書きで表記する場合、勝チームの得点を左側に記入すること。

縦書きで表記する場合には、それぞれのとった得点及びセットをそのチーム側に記入すること。

出場チーム数の少ない場合には縦書きで、多い場合には横書きで表記することが望ましい。また、トーナメント戦の組合せ表、勝チーム側のラインに太線を入れ、中央に優勝（第1位）チーム名を記載すること。（組合せ表などのチーム名は4～6文字に省略すること。）

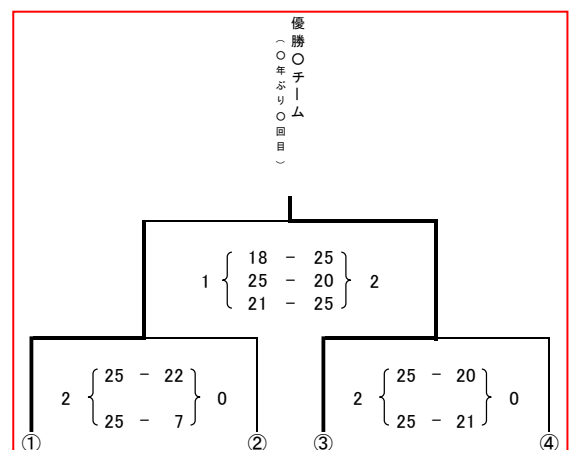
●横書きの例

（勝者の得点を左に記入）



●縦書きの例

（それぞれの側に得点を記入）



- 没収試合の例
(没収の場合は得点の右側に「没」の略字を記入)

$$2 \left\{ \begin{array}{l} 25 - 10 \\ 25 - 0 \text{ 没} \end{array} \right\} 0$$

- 棄権試合の例
(棄権の場合は下記のとおり記入し、「棄権」と付記)

$$0 \left\{ \begin{array}{l} 0 - 25 \\ 0 - 25 \end{array} \right\} 2$$

(棄権)

13 役員委嘱状・大会案内状・礼状について

- (1) 役員委嘱状 発信者名は、便宜上、地区協会会長名でよい。
 発送対象は、実行役員のみ。
 案内状・礼状は発信者の押印をしなくてもよい。
- (2) 大会案内状 関係市町村・教育委員会教育長・スポーツ協会長
 報道関係各社(地元・市役所記者クラブ等)冠大会関係各社
 北海道協会長・副会長・常任理事・理事・監事
 北海道協会事務局・各地区協会会長(事務局宛)
- (3) 礼状 上記、大会案内状の発送対象参加チーム
 (北海道協会顧問・参与も含む)
 (競技結果も同封すること。)

14 後援依頼について

開催要項に後援として団体名を記載する場合は必ず、後援依頼を申請してください。必要書類には会場図(感染対策・動線・写真)が必要となる場合があります。また後援依頼を申請しても承諾までに時間がかかることが多々ありますので早めのご対応をお願いします。

結 果 報 告

1 大会資料

- (1) チームスタッフ変更一覧・プログラム2部
- (2) 競技記録（組合せ表記載）
- (3) 戦評（審判名・記録者名入）
- (4) 大会報告書（道HPにデータあり）

2 報告先 ※①は1部、②は2部

	報告先	(1)	(2)	(3)	(4)	郵送（持参）またはメール
1	北海道バレーボール協会事務局 〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 北海道立体育センター内	②	②	②	②	郵送（持参）またはメール h.v.a@estate.ocn.ne.jp
2	北海道バレーボール協会 競技委員長 石崎 賢		①		①	ishichan_0115@yahoo.co.jp
3	北海道バレーボール協会 競技委員会 主事 小谷 和幸		①		①	kotachan@hokkaido-c.ed.jp
4	北海道バレーボール協会 競技委員会 副主事 佐藤 誠 (ホームページ担当)		①			makoto-sato@hokkaido-c.ed.jp

3 報道各社への報告

- ・大会当日、1(2)の競技記録をFAXまたはメールして下さい。

	報道機関名	TEL または FAX		メール
1	北海道新聞社運動部	TEL	011-210-5639	spo-news@hokkaido-np.co.jp
		FAX	011-210-5619	
2	道新スポーツ（電子版）	TEL	011-241-1230	domuna@douspo.com
		FAX	011-251-7587	
3	スポーツニッポン新聞社 北海道支社	TEL	011-251-1755	hokkaidou@sponichi.co.jp
		FAX	011-251-7346	
4	報知新聞 北海道総局	TEL	011-251-1230	hokkai@hochi.co.jp
		FAX	011-251-2312	
5	北海道日刊スポーツ新聞社 編集部	TEL	011-242-3920	s_matsusue@kita-nikkan.co.jp desk@kita-nikkan.co.jp
		FAX	011-231-5470	
6	朝日新聞北海道支社報道部	TEL	011-222-1601	kitaspo@asahi.com
		FAX	011-221-4989	
7	毎日新聞北海道支社	TEL	011-231-3085	h.houdou@mainichi.co.jp
		FAX	011-222-1049	
8	読売新聞北海道支社	TEL	011-231-1775	hokkaido@yomiuri.com
		FAX	011-222-0490	
9	産経新聞札幌支局	TEL	011-241-3341	msugiura.sankei@gmail.com
		FAX	011-241-3343	
10				

※上記報道機関とは別に要望のあった報道機関への結果報告をお願いします。
 ※事前に大会開催の連絡もしておくと思います。

競 技 役 員 業 務 必 携

競技委員長 大会委員長をサポートし、競技会の運営に関する全てを統括、掌握する。

競技副委員長 各会場の競技委員長の代行業務(問題が生じた場合は、必ず競技委員長の指示を受ける)

- ①参加資格を遵守し、事前にベンチスタッフ有資格者確認作業を行う。
- ②北海道ブロック国スポの代表者会議の際、監督、選手変更を確認し、最終エントリーを提出してもらう。
- ③試合球を点検・確認し、大会審判委員長のサインをもらい、各会場に配球する。
(会場使用球は大会委員長と協議)
- ④大会名・開催地等を記入した公式記録用紙を保有し、各会場に配布する。
- ⑤競技終了後の公式記録用紙の点検、保管する。
- ⑥各大会日第一試合のコートアナウンスをコート主任と連携し行う。
- ⑦前試合終了後、当該審判員・コート主任と連携し競技開始の指示をする。
- ⑧準決勝・決勝・3位決定戦の戦評を作成する。
- ⑨応援団がいる場合は競技開始前十分に打ち合わせを行う。

競技委員 (コート主任・競技記録主任・会場主任)
(前日まで)

- ①登録選手と参加選手とをMRSにより出力された「チーム加入選手一覧」により照合。
- ②チームスタッフ変更届・コンポジションメンバーシート(構成メンバー表)・ラインナップチケット(6人制)・サービスオーダー表(9人制)・プログラムをチーム用封筒に詰める。

(代表者会議当日)

- ①代表者会議終了後、チームスタッフ変更届を受け取り、一覧表を作成し、各コートに配布する。
- ②北海道協会2部のプログラム、大会競技成績(トーナメント表)を準備する。
- ③得点板用チームプレート・取得セット表示マーカーを各会場に分ける。
- ④プラカードスタンドを各会場に配置する。
- ⑤チームプレート、プラカードは各会場へ運び、チームプレートは線審点示主任に、プラカードはコート主任へ引き継ぐ。
- ⑥ボールゲージ・警告カードを各会場に配置する。

大会当日

- ①競技場開場前に、コート主任と協力しコートのセッティングに当たる。
- ②競技副委員長と協力しボールの気圧点検を行う。(毎朝、または競技開始前)
- ③常に競技会場を点検、確認する。(ラインテープ・マスキングテープも剥がれ、床の点検など)
- ④第1試合は競技開始30分前に、第2試合以降は前試合1セット目終了後、コンポジションメンバーシート(構成メンバー表)を、当該チームより受け取り公式記録用紙に記入する。
- ⑤競技者ユニフォームの確認を行う。
- ⑥前試合終了後、線審点示主任からチームプレートを、コート主任からプラカードをそれぞれ回収する。
- ⑦勝ち進んだチームのチームプレート、プラカードを点検・確認し競技副委員長のチェックを受け、保管する。

(コート主任) ①競技委員と協力して、コート設営等、担当するコートの競技運営全てを総括掌握する。

②コートに関する全ての点検整備。

- ・公式記録用紙、リペロチェック用紙(6人制)、サービスオーダー用紙(9人制)、筆記用具(青ボールペンが望ましい)、ラインテープ、マスキングテープ、白ビニールテープ、カッター
- ・試合球・ボールスタンド・ボールゲージ
- ・審判台の調整・警告カード・ラインズマンフラッグ・ネットスケール
- ・支柱・支柱カバー・ネット(6・9)・サイドバンド、アンテナ
- ・点示板・チームプレート・プラカードスタンド・タオル・モップ・電子ホイッスル(ロングサーブ用)

・ネットの計測（張り具合、特にアンダーロープ・補助ロープの調整）
※支柱、ネットなどの1コート分の用具を、各会場最低1組は予備の用具として準備する。

③プラカードについて

- ・開会式終了後、各会場に分担して運ぶ。
- ・競技委員からその日のプラカードを受け取る。
- ・前試合終了後、直ちに当該チームのプラカードを選手集合所へ持っていき、両チームのキャプテンに渡す。さらにトスに立ち会い、結果を確認し線審点示主任に連絡する。
- ・試合終了後両チームのキャプテンからプラカードを受け取る。
- ・その日の全試合終了後、回収したプラカードを会場主任に返納する。

- (競技記録主任) ①コンポジションメンバーシート（構成メンバー表）受付業務。
②各会場の競技成績を集計し、報道機関・役員・チーム・記録速報委員に渡す。

会場掲示など全て横書き

記載例 $2 \left\{ \begin{array}{l} 25-10 \\ 25-6 \end{array} \right\} 0$ 2セットのときは真ん中の「-」を消す

- ③競技記録の作成
④点示用チーム名の作成。（観客席からチーム名が判読できる大きさ）

- (記録速報委員) ①掲示用組合せを作成貼付する。（6文字以内）
②チームプレート競技記録委員とともに作成する。
③速報用紙に記入後、競技副委員長のチェックを受け、各コートの結果をまとめて競技記録主任に連絡し、当日の試合終了後、競技記録主任に渡す。
④各会場それぞれ、連絡を密にして試合結果（他会場の結果も）を掲示板に記入する。

会場主任

- ①競技、練習会場等の施設の統括（開場時刻調整）
②本会場における競技会名称の「看板」及び「旗」の位置を確認する。
③競技場内の諸規則（彩光、換気等）に留意する。
④練習コート割当表の作成と参加チームへの送付をする。
⑤放送委員の伝達放送指導、援助する。
⑥応援旗・バナー等が観戦者の妨げにならないよう、チームを指導する。
⑦会場周辺の駐車状況について把握し、近隣に迷惑をかけないようチーム及び観戦者に協力を願う。

各種大会プログラム作成基準（道協会主催大会）

北海道バレーボール協会が、主催・主管する北海道予選会のプログラム作成にあたり、統一的な基準をつくりましたので、今後は、これに準拠したプログラムの作成、大会運営をお願い致します。

1 プログラムの全体構成

(1) 表紙

プログラムタイトルを、開催要項通りに、全て正確に記載する。

第〇回というように回数を入れること。

表紙の裏面は通常広告掲載ページとして使用する。

(2) 大会日程

大会期間中の日程、会場、時間、会場電話等、一覧にして印刷する（1／2ページ）

式次第（1／2ページ）

開会式	閉会式
1 開式通告	1 開式通告
2 選手入場（整列） 「ただ今から開会式を行います」	2 選手入場（整列）
3 開会宣言（大会名は大会委員長が述べる）	3 成績発表
4 優勝旗・杯返還	4 表彰
5 大会会長挨拶	5 大会会長挨拶
6 祝辞（2分程度）	6 閉会宣言
7 選手宣誓	7 閉式通告
8 閉式通告	8 選手退場
9 選手退場	

※小学生大会は、「閉会のことば」的な表現で可。その他については、日本協会の要項に準じる。

2 栄光の記録

巻末ではなく、式次第の次に記載する。

プログラムで最も重要なページである。（歴代優勝・準優勝チームの栄光を讃える）

3 大会役員（原則として）・・・下記の大会役員は2023・2024年度の方です。

1～2ページで、全て「大会役員」として統一する。

（大会名誉会長） 主管協会（開催地）市長等

大会 長 北海道バレーボール協会会長 生島 典明

大会 副会長 北海道バレーボール協会副会長 黒田 謙二

北海道バレーボール協会副会長 洪谷 研一

北海道バレーボール協会副会長 田中 昌幸

主管バレーボール協会会長

顧 問 北海道バレーボール協会顧問 丸山 達男

北海道バレーボール協会顧問 杉本 拓

北海道バレーボール協会顧問 高橋 賢治

北海道バレーボール協会顧問 紺屋 正雄

主管バレーボール協会市町村長

主管バレーボール協会教育委員会教育長

主管バレーボール協会顧問

参 与	北海道バレーボール協会参与 主管バレーボール協会参与 主管バレーボール協会副会長
大会委員長	北海道バレーボール協会理事または主管協会理事長
大会副委員長	主管協会理事長または副理事長
大会委員	北海道バレーボール協会理事（長） 主管バレーボール協会副理事（長）
競技委員長	北海道バレーボール協会競技委員会派遣役員
競技副委員長	北海道バレーボール協会競技委員会派遣役員・主管協会競技委員長
競技委員	主管バレーボール協会競技委員・役員
（コート主任）	（主管バレーボール協会役員）
（競技記録主任）	（主管バレーボール協会役員）
（会場主任）	（主管バレーボール協会役員）
審判委員長	北海道バレーボール協会派遣役員
審判副委員長	北海道バレーボール協会派遣役員・主管協会審判副委員長
審判委員	北海道バレーボール協会審判委員
補助役員主任	主管バレーボール協会役員
総務委員長	主管バレーボール協会事務局長
総務副委員長	主管バレーボール協会役員
総務委員	主管バレーボール協会役員
式典主任	主管バレーボール協会役員
接待（受付）	主管バレーボール協会役員
救 護	主管バレーボール協会役員

4 大会組合せ（2ページ）

大会組合せ表及び出場チーム一覧

5 参加チーム名簿の印刷順序

- (1) 前年度優勝チーム
- (2) 推薦チーム
- (3) 南より順に印刷する

6 参加チームの掲載情報

大会に参加する各チームの情報については開催地において厳重に管理し、決して第三者に漏洩及び目的外使用することのないように注意すること。掲載情報としては下記の項目に統一のこと。

- (1) チーム名
- (2) 監督・コーチ・マネージャー・選手等の氏名
- (3) 選手の競技者番号、身長、年齢、出身校
- (4) チームからのコメント

7 広 告

ボールメーカーの広告については、条件の良い下記のページに記載する。（各年度、試合球等の協賛を得ている。）

- (1) 表見返し
- (2) 裏表紙
- (3) 裏見返し 等

8 その他

「顧問」、「参与」には主管協会との関連で競技施設の「管理者」等を委嘱し、氏名を記載する場合もある。この点については、各協会の事情により適切に対応してください。